

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
G201	ミクロ経済学 I	2年	講義	2	大石和博
<b>授業概要</b> ミクロ経済学 I はシティライフに関連する様々な要素を理解するために必要な科目です。2年次において最も重要な科目の一つであり、必修科目となっています。受講者がミクロ経済学を各分野に応用することを念頭において、個人や企業の意思決定がどうモデル化されているかを説明します。なぜ信号待ちでもタクシーのメーターは上がるのか、最低賃金の引き上げは若者にとって得だろうか、といった日常生活での疑問や政府が直面する経済問題をとりあげたいと思います。					
<b>到達目標(学習の成果)</b> ・ミクロ経済学の基本的な用語(希少性、トレード・オフ、機会費用、効率性など)を説明することができる。(DP3) ・比較静学分析を行うことができる。(DP3)					
<b>授業計画</b>					
回	表題	学修内容			
1	ミクロ経済学の世界によくこそ!	講義概要、第1章 第1原理(希少性の世界とトレードオフ)			
2	経済学の十大原理(1)	第1章 第2原理(機会費用)、第3原理(限界原理)、第4原理(インセンティブ)			
3	経済学の十大原理(2)	第1章 第5原理(交換の利益)、第6原理(市場経済)、第7原理(政府の役割)			
4	経済学者らしく考える(1)	第2章 科学的方法、仮説の役割			
5	経済学者らしく考える(2)	第2章 経済モデル(フロー循環図、生産可能性フロンティア)			
6	相互依存と交易からの利益	第3章 比較優位の原理			
7	需要と供給の作用(1)	第4章 価格と需要量との関係、価格と供給量との関係			
8	需要と供給の作用(2)	第4章 応用問題			
9	需要と供給の作用(3)	第4章 需要と供給を組み合わせる			
10	弾力性とその応用(1)	第5章 需要の価格弾力性とその決定要因			
11	弾力性とその応用(2)	第5章 供給の価格弾力性とその決定要因			
12	弾力性とその応用(3)	第5章 需要、供給、弾力性の三つの応用			
13	弾力性とその応用(4)	第5章 麻薬の禁止は麻薬絡みの犯罪を増やすか、減らすか			
14	需要、供給、および政府の政策(1)	第6章 価格規制(家賃規制)			
15	需要、供給、および政府の政策(2)	第6章 価格規制(最低賃金)			

準備学修(授業外の自己学修)

最もよい準備学修は新聞を読むことです。特に、『日本経済新聞』をできるだけ毎日読むようにしてください。

成績評価の方法・基準(%表記)

原則として、提出物(20%程度)、期末試験(80%程度)で評価します。ただし、遅刻、欠席および受講態度不良は減点の対象となることがありますので注意してください。

観点	S	A	B	C
ミクロ経済学の基本的な用語を理解し、教科書レベルの問題を正しく解答することができる。	ミクロ経済学の基本的な用語を「十分に」理解し、教科書レベルの問題を9割以上正しく解答することができる。	ミクロ経済学の基本的な用語を「ほぼ十分に」理解し、教科書レベルの問題を8割以上9割未満正しく解答できる。	ミクロ経済学の基本的な用語を「かなりの程度」理解し、教科書レベルの問題を7割以上8割未満正しく解答できる。	ミクロ経済学の基本的な用語を「ある程度」理解し、教科書レベルの問題を6割以上7割未満正しく解答できる。
比較静学分析を行うことができ、教科書レベルの問題を正しく解答することができる。	数値例を用いて「正確に」分析でき、教科書レベルの問題を9割以上正しく解答することができる。	数値例を用いて「ほぼ正確に」分析でき、教科書レベルの問題を8割以上9割未満正しく解答できる。	数値例を用いて「かなりの程度」分析でき、教科書レベルの問題を7割以上8割未満正しく解答できる。	数値例を用いて「ある程度」分析でき、教科書レベルの問題を6割以上7割未満正しく解答できる。

教科書

下記の教科書を使用します。

N. グレゴリー・マンキュー『マンキュー経済学I ミクロ編(第3版)』東洋経済新報社、2013年、税込み 4,320円。

参考になる本

- ① クルーグマンほか『クルーグマン ミクロ経済学』東洋経済新報社、2007年。
- ② 八田達夫『ミクロ経済学I』東洋経済新報社、2008年。
- ③ 八田達夫『ミクロ経済学II』東洋経済新報社、2009年。
- ④ 八田達夫『ミクロ経済学 Expressway』東洋経済新報社、2013年。

履修上の注意・学修支援

なし